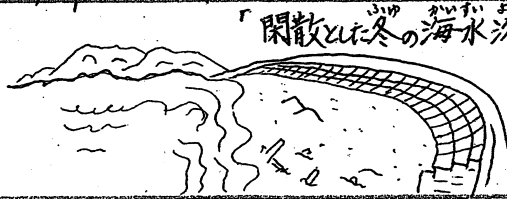


かん、さん
閑散 →



「閑散とは冬の海水浴場」

ひっそりとした静かなさま。

かん、せい
閑静 →



「閑静な住宅地」

しずかでおちついていようす

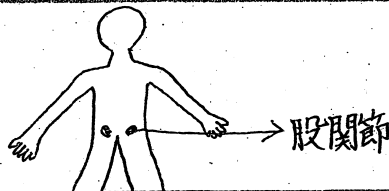
こん、いろ
紺色 →



「紺色のスーツ」

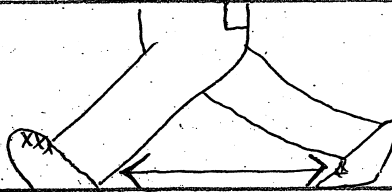
こゝろが濃い藍色

こ、かん、せつ
股関節 →



つなぐまたの付け根の関節のこと

おお、また、ある
大股で歩く →



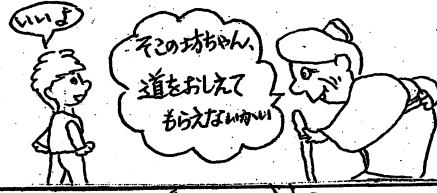
ほはば、ひろ
歩幅が広いこと
両足を大きく広げること
りあし、おほ、ひろ

あか、ぼう
赤ん坊 →



生まれて間もない子
う、ま、こ

ぼ、う
坊ちゃん →



たにん、おとこ、こ
他人の男の子どもを
敬つていうことは
うやま

し、ぎん
詩吟 →



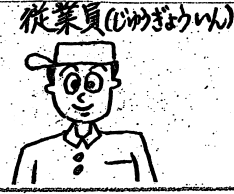
かんし、ぶし
漢詩に節をつけてうたうこと

こ、よう
雇用 →



ちんぎん、ほう、ひ
賃金を払って人を
やとつこと。

やと、ぬし
雇い主 →



人を雇つて仕事をさせる人。

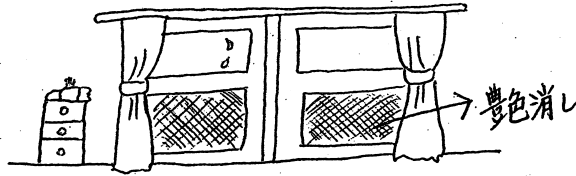
よう えん
妖艶 →

「妖艶な役者」



あやしいまでに、なめ
かし美しいこと
うつく

つや け
曲艶消し →



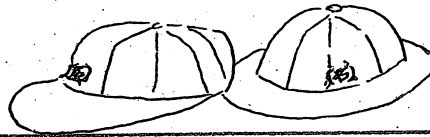
ひょうめん こま おうつ
表面に細かい凹凸を
つけて不透明にけたガラス。
曇りガラス

ぼう し
帽子 →



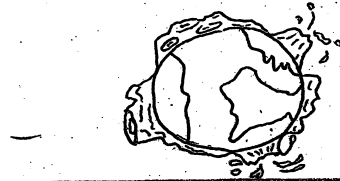
あたま
頭にかぶって、暑さや
寒さを防いだり、かざりに
したりするもの

がく ぼう
学帽 →



がくせい せいと
学生・生徒がかぶる。
学校の制帽。
がっこう せいぼう

ち かく
地殻 →



ちきゅう ひょうそくぶ
地球の表層部。

かい たら
貝殻 →



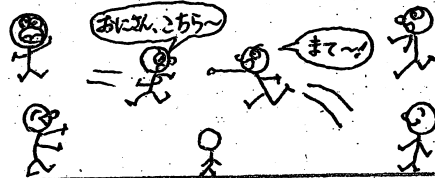
かい み づつ
貝の身を包んでいる。
外側のかたいもの
そとがわ

き さい
鬼才 →



ひとば
人並みはずれて、
すぐれている才能
まうり

おに
鬼ごっこ →



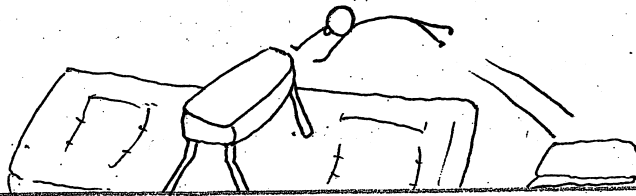
こども あそび
子供の遊びの一つ。

かわ い
渴きを癒やす →



のどが かわ
のどが渴くことを
やわらげる。

ちやう ば
跳馬 →



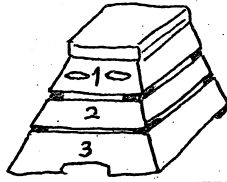
たいそう ぶくろ
体操用具の一つ

は、うま
跳ね馬 →



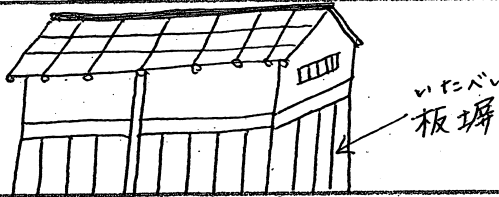
はねあがるせの
ある馬。
うま

と、ばこ
跳び箱 →



たいせう、おんぎんぐ
体操用具の
ひとつ。

いた、べい
板塀 →



いた、べい
板でつくつた塀

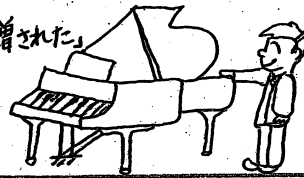
ぞう、とり
贈答 →



しもの、ひと
品物などを人におくたつ
お返ししたりすること。

き、ぞう
寄贈 →

「学校にピアノが寄贈された」
がっこう



品物やお金をおくこと
しもの、かね

おく、もの
贈り物 →



他人にあげる品物
たにん、しもの

きゃく、しよく
脚色 →

「童話を脚色に劇をした」
どうわ、げき



しやくわ、ものがたり
小説や物語などを、劇や映画
にできるような形に書きおろすこと
かた、か

まえ、あし
前脚 →



前に踏みだした方の足

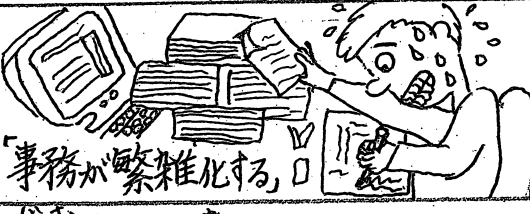
ほん、えい
繁栄 →

「子孫が繁栄する」
しよん



勢いが盛んになること。
いきお、さか

ほん、ざつ
敏系雑 →



しなくてはならない物事
が多くて、わずらわしいこと。
おお